

団塊世代!! セカンドデビューのすすめ



ながさき
ダンカース

ダンカース

NAGASAKI DANKERS

第2号
2012年3月



特集
グリーンツーリズム
研究会と
団塊の世代

山と山と仲間作り
セカンドライフの舞台は
琴海エリア

～長崎 琴海グリーンツーリズム研究会～

大人の放課後「長崎市役所二胡愛好会」
ダンカースチョイス

海と山と仲間作り。

三つのキーワードから選んだ セカンドライフの舞台は、 琴海エリア。

〜長崎琴海グリーンツーリズム研究会〜

琴海の山と海の魅力に
集まった人たち

長崎市の琴海エリアは、とても広い。穏やかな大村湾に沿って長い海岸線を持ち、さらに隆起した山並みと深い森が広がる。海風が渡り、樹木が繁る。こんな美しい海と山に魅せられて集うグループがいる。「長崎琴海グリーンツーリズム研究会」だ。この西彼杵半島の大自然の風景を舞台に、セカンドライフの仲間作りを立ち上げた。研究会のリーダーは、イターン者の福岡洋典さん。福岡さんは兵庫県生まれで、日本各地を巡り、夫婦で琴海町へ定住した。他のメンバーたちの年齢も50〜60代が多く、域外からの移住者と地元の人が半々くらい。先日の

定例会では、他の地域のグリーンツーリズムの活動を参考にしながら活発な意見が出た。「ここも女性は元気。特技を活かして『儲けよう』という意識込みが違う」

動していきたい。それが、会員たちの生きがいにもなると思います」と話す。

「活動が活発なところは、まちづくりの感覚でまとまりがある」

「全体の中の『個人』と、磨いてきた『個性』」

「琴海の地元の人たちは、よそから来た人たちが何かやっていると感覚でハタから見ている感じ」

さて、「燻製作り講座」が行われた取材の日は、雪の舞う寒い日。同年代の燻製作りの名人を先生にして、約30人が学びながら遊ぶ。また、燻製講座のかわらでは、即製かまどで、黒米の釜飯と自前の畑で採れた野菜を使った豚汁も湯気上げて

リーダーの福岡さんは「都市部に住む人たちに、農業や漁業の体験民泊、カヤック体験などの体験型観光を通じて、琴海の風土が持つ豊かな自然を感じ取ってもらいたい。そのためには、地元の農業や漁業を仕事にしている人たちや行政センターの協力が必要です。ぜひ、一緒に活

かして。黒米の釜飯と自前の畑で採れた野菜を使った豚汁も湯気上げて、全体を考えて頭を使い体を動かす。社会活動で鍛えられてきた団体行動の基本を、本人たちは気が付かないまま身に付けており、それは、新しい組織に入っ

もスムーズに機能する。

しかけてみた。

ちなみに、会員たちそれぞれの「特技」もスゴイ。ある造園業の人は、ピザ窯や五右衛門風呂を作って民泊できる施設を作っているし、ある旅館経営者は、大村湾の海辺で一般の人や小中学生にカヤック体験講座を開講している。さらに、琴海に自生する南蛮ギセルなどの野草好きが高じて、二万坪の山野を買い、そこにシタレ桜などの樹木を植えてキャンプ場を作った人もいる。

海の仕事を退職して、今はオリーブの木を植えている人の話が聞けた。「九州をオリーブの産地にした。今年また七百本のオリーブの木を植えます。実が採れるようになるのは5年〜10年かかります。植えたからといって、うまく実が採れるかどうかは分かりません。でも、例えば、ミカン

村湾は内海だから波も穏やかでお勧め。僕が案内しますよ」。「今、琴海は『通過する町』なんです。楽しくて、美味しいものいっぱいあるのに。それに人がすごい。料理が上手い人や、竹炭作る人、陶芸や木工、染色なんか、芸術家並みよ」。

町の活性化は、琴海を訪れる
交流人口を増やすこと。

「九州をオリーブの産地にした。今年また七百本のオリーブの木を植えます。実が採れるようになるのは5年〜10年かかります。植えたからといって、うまく実が採れるかどうかは分かりません。でも、例えば、ミカンの木を植えている農家が試しにオリーブに転向してみる、というワケにはいきませんよね。そういう意味では、僕みたいなのが植えて育てるのが面白いかな、と思います」。

それぞれ違った経歴をたどって、ここへ来たはずなのに、皆さんが同じ言葉をお口にしているのはなぜだろう。それは「地域のため」。それが知りたくて、燻製作り講座に来ていた人ひとりずつに話

他の人はこうも言う、「都市部に住む人に、琴海の良さをもっと知ってもらいたい。ここは、海も山も素晴らしいよ」。「夏のカヤックも楽しいですよ。大



燻製作り講座の昼ご飯タイム。今後の活動についてのミーティングも兼ねている。



豚のかたまり肉を豪快にいぶす。燻製作りの様子。皆さん興味深く。

琴海グリーンツーリズム研究会

◎グリーンツーリズムとは…都市部に住む人たちが自然豊かな農山漁村地域などに滞在し、様々な体験を通じて、現地の人たちと交流を図りながら、自然・文化に触れ、人・地域と一緒に楽しむ新しいスタイルの滞在型余暇活動。

- 所在地／長崎市長浦町1810-7 ●電話／090-2748-7475(福岡さん)
- 設立／平成20年5月22日 ●組織構成／一般会員22家族・1団体 賛助会員 17家族
- 主な体験プログラム／芋堀り体験、ラベンダー摘み、そば打ち体験、山菜摘み体験、シーカヤック体験、石釜クッキング など。

琴海エリア情報 第1回 琴海花まつり

戸根川の土手に沿って咲き誇る県下最長の桜並木は必見です。

- 日時／3月31日(土)〜4月1日(日)
- 場所／長崎市琴海中央公園 戸根川一帯

- 主なイベント
- ・特産・直売コーナー(10時〜17時)
- ・体験イベントコーナー(シーカヤック、陶芸、竹細工、イチゴ狩り、ウォーキング大会、木工、染色など)
- ・キッズコーナー(大型遊具も充実)
- ・スタンプラリー

■問い合わせ
琴海行政センター 095-885-2111
※まつり期間中は、臨時駐車場から無料シャトルバスを運行します。



福岡洋典さん
長崎琴海グリーンツーリズム研究会会長。先に退職した先輩が建てた琴海の家に遊びに来て、琴海へイターン。兵庫県出身。昭和28年生まれ。



奥村満男さん
海が仕事場だったから、海のそばに住みたいと考えていた。九州をオリーブの産地にしたい。鹿児島県出身。昭和22年生まれ。



表紙に登場して下さったのは、「長崎琴海グリーンツーリズム研究会」の皆さん。この日は、「燻製作り講座」を開催。

長崎市役所
二胡愛好会



溝口博幸さん●会で演奏する、いろんなジャンルの曲の編曲は、すべてこの方の担当。「音楽知識がなくても大丈夫ですよ」



智多正信さん●二胡を始めたきっかけは、溝口さんに誘われて。「走って、飲んでばかりじゃあ、と思って」。二胡はかなりの腕前。



それぞれの曲の中で、「ソロ」のパートを担当するのは女性が多い。団塊の世代の女性たちは、ここでもシッカリとリードを取る。

7月。古参の溝口さん(写真上)が、二胡の指導者として、上海出身の若手二胡奏者 Sissiji(季文馨)先生を連れて来た。そして、溝口さんは智多さん(写真下)を誘い、会員を増やしていった。

中国の旧正月を祝う「長崎ランタンフェスティバル」の時期は、毎年いつも寒い。しかし、その冷えた空気の中、二胡の音色は、ほんわかと優しく、暖かみを運んでくれる。

この日、「孔子廟」のステージに立ったのは「長崎市役所二胡愛好会」のメンバーたち。10数人のメンバーのうち約半分が団塊の世代だ。長崎市職員を中心に、退職者や主婦が多い。

その昔、中国から長崎へ伝わった楽器「二胡」の弦は二本だけ。弓を使って音を出す。会の代表・白石憲博さんに二胡の魅力を尋ねた。「哀愁を帯びた音が、どこか懐かしく人の心を癒してくれるような気がします。音程を安定させるのは難しいですが、やり始めると楽しいですよ」。

会の発足は、2003年

というのも、当時、ランタンフェスティバルを盛り上げるため、二胡の演奏団体が必要だった経緯があった。この明確な目的と、指導者先生のもと、メンバーたちはメキメキと腕を上げていった。そして、デビューは2004年のランタンフェスティバル。計算すると、会の発足からデビューまでは半年ばかり。まさに、ランタンフェスティバルとは、深いつながりがあるようだ。

「会を長続きさせるコツは？と、白石さんに聞くと、「喜んでもらえる事。これに尽きます。先日、介護施設で『残り少ない人生の一日に、素晴らしい演奏による人生のページを加えていただいて、ありがとう』というご挨拶をいただきましたよ」。

趣味に社会貢献というエッセンスが加わることで、ますますやりがいアップしているようだ。

さて、会の活動は冬の大舞台の他、年間を通じて地域の行事やデイサービスセンターや病院などへの訪問演奏も行なっている。

「会を長続きさせるコツは？」と、白石さんに聞くと、「喜んでもらえる事。これに尽きます。先日、介護施設で『残り少ない人生の一日に、素晴らしい演奏による人生のページを加えていただいて、ありがとう』というご挨拶をいただきましたよ」。

長崎市役所 二胡愛好会

二胡、中国笛、ギター、キーボード、ベースのアンサンブル演奏チーム。演奏曲目は、唱歌、童謡、歌謡曲や演歌、ポップスなど多岐にわたる。

現在会員数約20名。

※市役所職員以外の方も入会できます。

【練習場所】長崎市役所職員会館

【練習日時】毎週水曜・木曜 18:30～

【会費】保険料として年間6000円 指導料別途

【その他】ランタンフェスティバルを始め、地域イベントや団体慰問演奏に、積極的に参加して下さる方。

【連絡先】白石憲博(長崎市農業振興課勤務)

電話095-820-6564

Eメール shiraishi_norihiro@city.nagasaki.lg.jp

ダンカーズ・チョイス

おり ゆう

長崎折遊おりがみ展

平面の紙から立体物を作る芸術「折り紙」。戦国武将のかぶとを折り紙でご覧あれ。



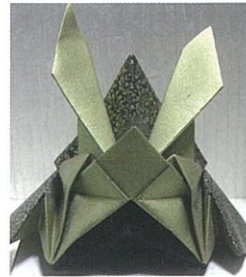
濱田 勇さん

「たかが、折り紙」と思ったら大間違い!展示作品の見どころのひとつ、家康・秀吉・信長のかぶとは、それぞれ戦国武将の特徴をつかんで、見事に折り分けられています。ほかにも、菖蒲あやめ、しゃちほこ、動物など、日本の伝承文化をディスカバリー。

なお、開催期間中の土日祝日は折り紙体験もできます。体験作品は「こま」や「器」など、あまり知られていない珍しいものを選び、日替わりで指導します。また、メインイベントとして、5月5日の子どもの日には、折り紙作家の濱田勇代表による「オリジナルかぶと」の折り紙講習を予定しています。お孫さんと参加してみるのも楽しいかも? 素敵な折り紙がひとつ折れるか、折れないか、紙一重の差がつかますよ。

- 【日 時】 4月14日(土)～5月6日(日) 10:00～17:00(最終日は15:00まで)
- 【場 所】 長崎市南山手美術館(グラバー園入り口前) 2階ギャラリー
- 【料 金】 入場無料
- 【主 催】 長崎折遊

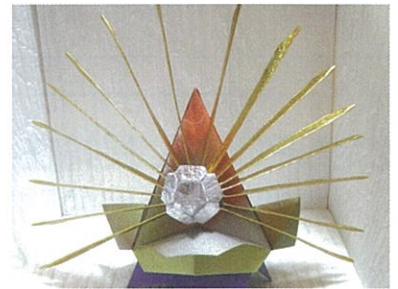
【問い合わせ】 長崎折遊代表 濱田 勇さん 電話・FAX/095-865-1291



祝かぶと



徳川家康



織田信長

長崎伝習所の塾生募集

長崎伝習所「塾」は、長崎を魅力ある元気なまちにするために市民と行政が力を合わせて研究活動を行う場です。平成24年度も、市民の皆さん自身が企画した3つの塾と一緒に楽しく活動していただける塾生を募集します。塾の内容等、詳細は申込書をご覧ください。



〈平成24年度 開設予定の塾〉

- 孫文・梅屋庄吉と明治大正長崎事情塾
- 長崎の町ねこ調査隊塾
- ながさきで物語をつくらう塾



- 【申込期間】 平成24年4月1日(日)～30日(月)
- 【申込資格】 長崎市内にお住まいか、または通勤・通学をされている方。
- 【申込方法】 申込書に必要事項を記入の上、長崎伝習所事務局まで。申込書は、市民活動センター、市役所本館案内所、行政センター及び支所に設置しているほか、長崎伝習所HPからダウンロードもできます。(申込書は4月から配布予定)
<http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/denshusho/>

【問い合わせ】 長崎伝習所事務局(長崎市市民活動センター内)
TEL.095-829-1125 FAX.095-829-2925
E-mail denshusho@city.nagasaki.nagasaki.jp

radiko(ラジコ)は、いざという時にも 身近にあるラジオです

パソコン・スマートフォンでラジオが聴ける



かつて、ラジオが最大の楽しみだった団塊の世代たち。ラジオの前でワクワクしながら「赤胴鈴之助」を聞いていた少年少女もいた。NBC「ラジオ朝刊 おはようラジオ」キャスターの平松誠四郎さんは「団塊の世代がradiko(ラジコ)をきっかけに、またラジオを聴く機会が増えてほしい」と話す。聴取方法は、パソコンの場合「ラジコ」で検索。スマートフォンでは、アプリをダウンロードする。長崎では、NBCラジオとFM長崎が、このサービスを開始したほか、NHKではすでに「らじる★らじる」でネットラジオ配信中。セカンドライフを楽しく生きるツールとして、ぜひ活用してはいかが。

童心に返る、自然に還る。

みなさんは「ネイチャーゲーム」をご存知だろうか。これは見る・聞く・触るなど様々な感覚を使って自然を直接体験する活動のこと。いろいろな色の落ち葉を集めたり、シカの道をたどって森の中を歩いたり、川の音をホースで聞いたり…季節や場所、参加者に合わせてメニューは実にさまざま。団塊シニア世代が参加するとまるで童心に返ったような感覚があるようだ。

ながさきネイチャーゲームの会では定期的に自然を体感するイベントを開催している。現在会員を募集中。小学校で野外活動をするため、「特に平日の日に活動できる方を求めています。『道草の先輩』である皆さんの力を貸していただけたら」とのこと。「道草」に夢中になって野山を駆け回った子ども時代を思い出して、自然を楽しんでみるのもいいかもしれない。



(団体からのお知らせ)

まずは、イベントの見学をしてみませんか？
以下のようなイベントが開催されます。

「春を食べよう」

～山菜取りとネイチャーゲーム～

山菜採りハイキング。採った山菜で天ぷらやピザを作ります。午後は、ネイチャーゲームで自然体験。

【日時】3月25日(日) 10:00～15:00

【場所】長崎市民の森

【問い合わせ】

ながさきネイチャーゲームの会
担当 藪田さん 090-2088-7320

Eメール mail@ng-n.jp HP <http://ng-n.jp/>

認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット 第3回市民公開講座

在宅緩和ケアのあり方とは？

人生のファイナルステージとして、病院より自宅やホスピスを選ぶ人が増えてきている。この現状を踏まえ、いかに在宅の患者さんの痛みを取り除いていくかを、専門医が講演する。

【日時】4月7日(土)14:30～16:30

【場所】長崎歴史文化博物館ホール

【料金】入場無料

【主催】認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット

【内容】第一部／認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネットのご紹介
第二部／特別講演「今、在宅緩和ケア医に求められるものは」
講師 大頭信義先生(日本ホスピス・在宅ケア研究会理事長)

【問い合わせ】

認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット 小山さん 095-811-5120

オンナ心VS男にも言わせて！

「トイレ談義」

実は、女性だけでなく男性にも主張や言い分があったのだ！

観光都市長崎の公衆トイレの向上を目指して活動してきた市民グループ「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会の第2回公開会議では、公衆トイレに対する日頃なかなか聞けない男性目線の意見と、女性の視点がなかなか生かされていない現状などトイレに対する本音トークを専門家も交えて展開。トイレは男性にも女性にも必需部屋。ここはひとつ、男女トイレの壁を越えて、みんなが望む理想のトイレについてまとめてみよう。

【日時】3月31日(土)14:00～16:00(13:30開場)

【場所】長崎中央公民館第4研修室(長崎市民会館2階)

【料金】入場無料(入場整理券が必要)

【主催】トイレ会議実行委員会

【問い合わせ】「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会

竹中さん 095-821-7663 info@chotto-good.jp

市民主体の活動の舞台・出島 団塊世代も出島を舞台に！

現在、出島和蘭商館跡では、19世紀初頭の出島の復元事業が進行中です。春からは、市民主体のイベントや活動の場所として出島を提供することで、建物ばかりでなく、国際交流や情報発信の拠点といった当時の出島の役割も復元しようとしています。団塊世代が培ったノウハウを活かしたプランで、出島から「発信」しませんか？

年間パスポートでもっと身近に！

「出島商館員証」という年間パスポートを利用すれば1年間の入場が無料になるほか、出島内の会議室などが無料で利用できます。

出島でイベントをしてみませんか？

出島内で有料・無料問わず、イベントを開催できるようになりました。

※出島や長崎の歴史・ストーリーに関連したものであることが条件です。



出島東側の洋館群



23年度 出島商館員証

【問い合わせ】長崎市出島復元整備室 TEL.095-829-1194

ダンカーズ・チョイス

おもちゃの館ピーターパン

もりまちハートセンターで「おもちゃ図書館」を運営。健常者も障害を持った子どもも一緒に好きなおもちゃで楽しく遊べる場所を提供している。子どもたちとおもちゃで一緒に遊べるボランティアの仲間を募集中。子ども好きな方はぜひ。



【活動日時】 毎週火・木・土曜日 10:00～15:00
【活動場所】 ハートセンター2階

【問い合わせ】おもちゃの館 ピーターパン
ハートセンター/ピーターパン呼出(火・木・土曜10:00～15:00)
担当/池(いけ)さん 095-842-2525

長崎 出会いのよつ葉会

長崎県内在住の50才以上の「独身者」に出会いのチャンスを提供する団体がこちら。現在、会員は約140名で男女半々くらい。50～60代が多いが、最高年齢は89才の男性会員も。ただ、相手が決まれば次々に抜けていくので、会員は常に募集中とか。会の運営は、10人のボランティアスタッフ(こちらも皆さん独身)によって支えられている。



【交流会】 月1回 毎月第4日曜日
【入会金】 男性のみ1万円
【年会費】 男女共 3000円

※交流会の食事は実費(2000～2500円)にて。

会員になると、月1回発行の会報が送付される。交流会の案内を読んで、日時と会場を確認の上、事前に申し込むシステム。会長の山崎さんによると、「年金生活も一人より二人が楽。孤独死や生活保護も減るし、何より幸せになってもらいたい。長崎の活性化にもつながると思います。結婚を前提にした真剣な考えの方、ぜひどうぞ」。ご自身は34年間、美容院を経営なさっていると。「私も幸せを見つけたい」とも。

【問い合わせ】長崎出会いのよつ葉会
山崎さん 095-882-7410

第16回 チャリティーコンサートの お知らせ&サポーター募集

長崎を拠点とした音楽家たちによるコンサートも、今年で16回を迎える。チャリティーの趣旨は、年間40回という、病院や施設への慰問コンサートに必要な交通費などの経費を捻出するため。合唱やマンドリン、フルート、尺八、日本舞踊など、各分野のプロたちが最高の演奏を披露する、多彩なプログラム。

【日時】 3月24日(土)14:00開演(13:30開場)
【場所】 長崎市民会館文化ホール
【入場料】 当日700円(前売り券は絃洋会楽器店にて販売中)
【主催】 長崎音楽ボランティア協会

サポーター募集!

演奏会のお手伝いをしてくださる方を募集しています。

- ◎PR活動/演奏会チラシ配布・ポスター掲示
 - ◎演奏会当日の受付・スタッフ補助など
- ぜひ、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】長崎音楽ボランティア協会
会長・馬場幸子さん 090-1199-8865
事務局・松村久美子さん 090-8221-7108

学校図書館おたすけ隊

メンバー募集!

図書館関係者の方々と一緒に学習する場を設けて、市民と司書が一体となって学校図書館を盛り上げる活動を行っている。昨年は児童文学評論家・赤木かん子さんの「調べ学習講座」を2回開催。「子どもたちに調べ学習や、読む・知るたのしみを知ってほしい方の参加をお待ちしています」。



【問い合わせ】学校図書館 おたすけ隊
川崎さん 090-2237-0954
Eメール rinran08@aqr.bbiiq.jp ブログ ななのブロク

ながさきプロボノ・フェア 2012
 2012. 3. 24 (土) 13:00~16:00
 場所: 「えきまえ」いきいき広場
長崎市大黒町3-1 交通会館3階

あなたの経験が長崎を元気にする

PRO BONO

プロボノ・ワーカ― 説明会
 基調講演 パネルディスカッション
 NPOアース
 プロボノクイズ (参加費あり!)

13:00~13:10 開会宣言・主催者挨拶
 13:10~15:00 基調講演 『新しい社会貢献=プロボノを始めませんか?』
 【講 師】 吉原 裕美さん (NPO法人サービスグラント)
 パネルディスカッション
 【コーディネーター】 川崎 清廣 (ながさきプロボノ協議会会長)
 【パネラー】 新現役の会、セカンドデビューの達人たち
 【MC】 助成を希望するNPOの代表者
 15:10~15:00 交流会 (6アースの役員・職員・相談員)
 16:00 閉会式

長崎のNPOがもっと元気になるための新しいボランティアのあり方です。
 「プロボノ」を知って、あなたの経験を社会に貢献してみませんか?

ながさきプロボノ協議会 (NPO法人NPOながさき・NPO法人新現役の会長崎センター・長崎市)
〒850-0022 長崎県長崎市 長崎市市民活動センター「ランタナ」 TEL:095-811-1010 FAX:095-811-1011 (休日・祝日)
 URL <http://probono.npo-nagasaki.jp> (この事業費、平成24年度は長崎県「新しい社会貢献」(新しい社会貢献)事業費です)

PRO BONO ながさき
 どなたも参加できます。
 入場無料

あなたの経験が長崎を元気にする
ながさきプロボノ・フェア-2012

【日 時】 3月24日(土) 13:00~16:00
 【場 所】 「えきまえ」いきいき広場
 (長崎市大黒町3-1 交通会館3階)

- 基調講演「新しい社会貢献=プロボノを始めませんか?」
 講師 / 吉原裕美さん (NPOサービスグラント)
- パネルディスカッション
 コーディネーター / 川崎清廣 (ながさきプロボノ協議会会長)
 パネラー 新現役の会 セカンドデビューの達人たち
 助成を希望するNPOの代表者

*プロボノクイズに参加して、出展NPOの新作パンや長崎伝統のスープが試食できます。

【問い合わせ】 **ながさきプロボノ協議会**
 TEL.095-811-1010
<http://probono.npo-nagasaki.jp>

長崎市市民活動センター「ランタナ」をご存知ですか?



市民活動センター「ランタナ」は、様々な分野のボランティア・市民活動を行っている方々や、これから活動しようと考えている方のための交流拠点施設として開放しています。

「ボランティア」とかかまして「レストランのサービス」と解きます、その心は?.....まずは「みずから(自ら・水から)始めます」ボランティアに興味がある、市民活動をしてみたいけど何から始めていいかわからない...そんな時はランタナにご相談ください。

【開館時間】 平日 8:45~22:00 土・日・祝日 8:45~17:30
 【休館日】 12月29日~1月3日、施設点検日等
 【住 所】 〒850-0022 長崎市馬町21番地1
 TEL.095-829-1125 / FAX.095-829-2925

<http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/shiminkyoudo/>
 E-mail shiminryoku@city.nagasaki.lg.jp

★ ★ ながさきダンカーズ 通信

創刊号の反響は予想以上に大きく、発行1ヶ月後には1000部を増刷。協働事業のパートナーである長崎市の素早い対応は、次号取り組みへの大きな励みになった。

編集部には54通のアンケートが届いた。“団塊世代が待ち望んでいた情報紙である”“何かやってみようかなという気にさせてもらった”“これから定年を迎える現役世代にも第二の人生の大切さ、楽しさが伝わるような情報を発信して欲しい”など、あたたかい応援メッセージがほとんどでした。長崎の団塊シニア世代の力強い声援を受け、第2号をお届けします。

『ながさきダンカーズ』はセカンドライフを豊かに生きるきっかけづくりの情報を発信するツール。私たちは、読者の中心であるプレ定年世代から団塊シニア世代と一緒に集まり、みんなでセカンドデビューを後押しする「仲間づくり」や「出番づくり」の場=世代が交流するゆるやかな《プラットフォーム》を開発します。名称は《ながさきダンカーズ倶楽部》です。参加の方法など詳しくは本誌折込のアンケート用紙をご覧ください。

平成24年度も長崎市と協働事業継続が決定、発行が1号増えて年間3号(7月、11月、25年3月)となります。皆さまからの情報、ご意見をお待ちしています。

「ながさきダンカーズ」編集長 井手 達夫

【新現役の会長崎&ながさきダンカーズ】の情報
<http://www.justmystage.com/home/ngsnap/>

◎ながさきダンカーズについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

〈発行元〉 特定非営利活動法人 新現役の会長崎センター / 長崎市 市民協働推進室
 〒850-0022 長崎市馬町21-1 TEL.095-829-1125

(注) ホッチキスにご注意ください。